

学校運営協議会 議事録

校名	府立 城東工科高等 学校
(准)校長名	久 和人

開催日時	令和 6年 7月 4日(木) 13:00 ~ 14:30
開催場所	本校2号棟4階 視聴覚室
出席者(委員)	山田 会長、宗田 副会長、岡本 委員、大石 委員、渡邊 委員、
出席者(学校)	久 校長、三谷 教頭、吉川事務長、邨山首席、梁首席、石村首席 他4名
傍聴者	
協議資料	『令和6年度学校経営計画』、『令和6年度年間行事予定表』、 『入学生アンケート結果まとめ』、『令和5年度安全・衛生に関する状況』 『令和7年度使用教科用図書選定理由書』
備考	

議題等(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度 学校経営計画及び学校評価について</li> <li>②令和6年度 行事予定表について</li> <li>③新入生アンケート結果について</li> <li>④令和5年度 安全・衛生委員会資料について</li> <li>⑤令和7年度 教科書採択について</li> <li>⑥その他 各系からの報告</li> </ul>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>a. ユネスコスクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新校になるとどうなるのか。</li> <li>○ 昨年、キャンディデート校になったばかり、正式加盟については更に審査に1年程時間がかかると言われている。</li> <li>○ 学校名が変わっても継続できる。</li> </ul> <p>b. 意見箱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 意見箱への提出が『0』だったことについて、保護者に伝わっているのか。</li> <li>○ 意見箱は事務室横に置いているが、存在も含め伝えられていないため、今後、PTA等に伝えていきたい。</li> <li>○ 学校に対する意見については、学校自己診断アンケートなどや懇談等の場で意見をいただいている。</li> <li>■ 意見箱に入れるためには来ないと行けない。または子供に託す必要があるので、ハードルが高いのではないのか。</li> <li>■ メールで意見は聞けないのか。</li> <li>○ 欠席連絡フォームに含む『その他』欄にて意見等が記入できるようになっている。</li> <li>○ 懇談を設定しているので、懇談の場で意見を頂き対応している。</li> </ul> <p>c. 遅刻数について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遅刻数は減っているが、子供の数が減っているため、減るのは当然ではないのか。(R4:566 → R5:434)</li> <li>○ 平均して1人1回程であり、少ないと考えている。</li> <li>○ 今年度は、現在のところ80回ほどである。</li> </ul> <p>d. 携帯の使用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ PTAから見直しの依頼をしているが検討は進んでいるのか。</li> <li>○ 府立高校は現在、8時30分以前、17時以降に留守番電話に切り変わるため、子どもと連絡を取れない時間があることに対する携帯電話等の使用検討を進めている。結果的な形はどうかまだ分からないが、生徒への通知方法等も含め、検討を進めている。</li> </ul>

e. 新校について

- メカトロニクス系はどうなるのか。
- 基本的には、機械工学系と電気情報工学系に引き継ぐ方向。
- 機械系では、現在、取り組めていないメカトロニクス系の内容を取り入れるなど、実施していく方向で考えている。
- 系・専科の名称がわかりにくく、特に専科名は実際にどのようなことをするのかイメージできない。
- 布施工科の先生方は、城東工科の教員になるのか。
- 全員の先生ではなく、一部の先生が異動してこられることになると考えている。
- 新しい施設もできるが間に合うのか。
- R7年度から改修工事が始まっていく。間に合う予定である。
- 工学系大学進学専科は総合募集と違うのか。
- 工学系は単独募集であり、3年間、ずっと同じクラスとなる。
- 工学系は全員が大学に行くのか。
- 主として大学進学をめざしている。
- 就職することも可能。
- 今後、工学系はどうなのか。
- 先行3校で約10年経過した。R7年度には堺工科高校と合わせて5校になる。
- 先行3校では、あまり上手くいっていないところが多い印象がある。大学に行くなら普通科に行くとは思う。
- 府立高校の6割が定員割れしている中、同様の層を狙っても定員は埋まらないのではないか。それよりも広がるのではないか。
- 工学系を成功させるため大学側からも協力する方策を考えないといけない。
- まず、入学してくる生徒をどれだけ伸ばせるかがポイントとなる。大学に行って困らないよう、学力を高めていきたい。
- 中学では、公立か私立かであって、私学専願が増え、公立志願の生徒が減る傾向にある。
- 志願者が増えるよう、丁寧に中学校等に説明にうかがう。

f. 万博について

- 参加するのか。参加するのであれば交通手段は。
  - 参加する方向で進んでいる。
- 交通手段については、高校生がバスを使用できないため、本校としては現地集合、現地解散とす

次回の会議日程

日時	令和6年 11月 日( )00:00～
会場	本校 視聴覚室(2号棟4階)